

タイトル	人生を森のお家にしよう！
ポーランド語のタイトル	Uczyń ze swojego życia Leśny Dom!
テーマ *	c
名前	パトリツィア ロンキェヴィッチ
ポーランド語の名前	Patrycja Rąkiewicz
学校名 *2	ワルシャワ大学
学年	4年生
日本滞在歴	なし

\*a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんは子供の頃、人形で遊びましたか？私はシルバニアファミリーが大好きで、当時は日本の会社を作ったとは知らずに、ウサギの人形でよく遊んでいました。現在、私は23歳ですが、今でもその人形を持っています。ちょっとおかしいでしょうか？

実は私は、少し変わった趣味があります。もう皆さんはわかりますね。そうです。人形集めです。しかし、人形を集めていると言うと、不思議そうな顔をされることが多いです。職場の人は私の趣味を知ってとても驚き、「この人形で遊ぶの？」と何度も聞きました。また、母はよく「いつになったら人形を売るの？」と怒ります。私にとって人形は、棚にきれいに並べて眺めるものだということを誰も理解してくれず、悲しい気持ちになります。

でも一体、人形を集めることの、どこが珍しいのでしょうか。きっと皆さんそれぞれに、推しの俳優や歌手がいて、ポスターやCDを集めるでしょう？ それと同じです。

人形のコレクションはとてもおもしろいです。ほとんどのコレクタードールは自分の好みに合わせてカスタマイズすることができます。私は人形の目を赤い渦巻きにして、緑の長いウィッグをつけ、それにきれいな浴衣を着せて、まるで日本の神話に出てくるような素敵なお人形を作り上げました。自由にカスタマイズした人形はこの世にたった一つしか存在しない、自分だけの貴重な宝物になります。

そんな宝物の写真を撮ったり、人形の服を縫ったりすることで、カメラや裁縫にも興味を持つようになりました。パンデミックの時は、人形の髪の毛を直したり、服を縫ったりして時間を過ごせたため、趣味を持つことの大切さを痛感しました。もしコロナ禍でこの趣味がなかったら、私は退屈で死にそうになった上、毎日母に「勉強なさい！」と言われ続け、とっくにおかしくなっていたでしょう。

また、私はこの趣味を通して、人生で最も大切な友人に出会えました。趣味があれば、それを通して世界が広がり、同じ趣味を持つ人たちと情熱を分かち合うこともできます。実はここだけの話ですが、私は大学の物理学部のちょっと怖そうな教授から人形を買い取ったこともあります。趣味を通して怖い教授ともつながることができるのです。

このように、私にとって人形という趣味を見出した日は、これまでの人生で最高の日だったと言えます。ですから皆さん。皆さんもぜひ趣味を持ってください。その趣味が何であるかは関係ありません。たとえば、ラーメンの咀嚼音を延々と聞き続けるのが好きでも、恥ずかしがることはありません。一番大切なのは、自分の好きなことをできるだけ楽しみ、追求することです。好きなことへの追求をあきらめなければ、人生はきっとシルバニアファミリーの森のお家のように幸せいっぱいのものであるでしょう。

### Streszczenie (60-70 słów)

Tematem przewodnim przemówienia jest posiadanie nietypowego hobby, jakim jest kolekcjonowanie lalek. Na przykładzie kolegów z pracy oraz najbliższej rodziny autorka wskazuje, z jakimi komentarzami dotyczącymi swojego hobby spotyka się na co dzień.

Dalsza część odnosi się do zalet wynikających z posiadania pasji oraz możliwości nawiązania wyjątkowych znajomości. Całość podsumowuje stwierdzenie, że najważniejszą rzeczą w życiu jest czerpanie radości z robienia tego, co się naprawdę kocha.